

宮城県感染症発生動向調査情報(第17週)

宮城県【平成25年05月02日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2013.4.22 ~ 4.28 ・ 第17週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市			第14週	第15週	第16週	第17週
水痘	1 0.20	4 0.40	6 1.20	12 6.00	3 1.00	1 0.20	3 1.50	19 0.73	49 0.84	1,249	◎ →	◎ →	○ →	○
流行性耳下腺炎	3 0.60	4 0.40		1 0.50		1 0.20	2 1.00	5 0.19	16 0.28	404	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	48 9.60	93 9.30	28 5.60	24 12.00	20 6.67	25 5.00	11 5.50	325 12.50	574 9.90	7,002	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病					1 0.33			2 0.08	3 0.05	152	→	→	→	
伝染性紅斑	3 0.60	1 0.10	1 0.20	1 0.50		1 0.20	6 3.00	4 0.15	17 0.29	158	→	→	→	
突発性発しん	1 0.20	5 0.50	3 0.60	3 1.50	3 1.00	3 0.60	4 2.00	12 0.46	34 0.59	563	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	40 5.00	10 0.67	84 10.50		3 0.60	4 0.50	12 3.00	65 1.55	218 2.34	15,086	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		6 0.60		2 1.00		2 0.40		8 0.31	18 0.31	277	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33						3 0.50	4 0.33	40	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30 6.00	31 3.10	7 1.40		7 2.33	12 2.40		36 1.38	123 2.12	1,866	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						1 1.00			1 0.08	5	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	2 2.00	4 4.00	1 1.00			4 4.00	2 0.40	14 1.17	340	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00						1 0.08	14	→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60					3 0.60		2 0.08	8 0.14	211	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	2	4			2	4		◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病	1		1							【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症		1						5					

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性1名(第16週)
 - 大崎管内 男性2名
 - 石巻管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性3名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名
- 侵袭性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 男性1名
- 梅毒
 - 仙台管内 男性1名
- 風しん
 - 仙南管内 女性1名(検査診断例)
 - 塩釜管内 女性1名(第16週、検査診断例)、女性1名(臨床診断例)
 - 仙台管内 男性2名、女性1名(検査診断例)、女性1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【伝染性紅斑】
気仙沼管内で警報継続中。
- 【水痘】
栗原管内で注意報値を超えた。
- 【インフルエンザ】
大崎管内で注意報値を超えた。
- 【感染性胃腸炎】
警報基準値は超えていないが、患者数の増加がみられる管内もあり、また、サポウイルス等による感染性胃腸炎集団発生事例もあることから注意を要する。
- 【風しん】
先週に引き続き仙南、塩釜、仙台管内で報告があり、中には妊婦の感染例もあるので注意を要する。
* その後の調査結果により妊娠していない事がわかりました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

- 感染性胃腸炎集団発生事例より
 - 仙南管内 第16週採取分 ノロウイルス(GⅡ) 遺伝子 4件
 - 栗原管内 第16週採取分 ロタウイルス遺伝子 2件
 - 塩釜管内 第17週採取分 サポウイルス遺伝子 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第15週採取分 (4.8～4.14)	第16週採取分 (4.15～4.21)	第17週採取分 (4.22～4.28)
インフルエンザウイルスB型	1件	0件	0件
RSウイルス	1件	2件	3件
アデノウイルス	3件	1件	1件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第11週		20.3	31.7	11.2	3.7	6.1	8.8	4.3	4.8	3.7	3.5	1.9	375
第12週		21.6	30.0	14.1	3.8	0.9	6.1	8.0	4.7	4.7	1.9	4.2	213
第13週		20.5	22.0	16.1	4.4	8.8	7.8	6.3	6.3	3.4	2.9	1.5	205
第14週		25.2	24.5	8.8	3.8	3.8	15.1	8.2	3.8	3.1	1.9	1.9	159
第15週		26.8	24.1	9.8	3.6	6.3	6.3	6.3	4.5	2.7	1.8	8.0	112
第16週		11.6	25.9	30.2	9.5	2.1	3.2	6.3	4.8	2.1	2.6	1.6	189
第17週		23.5	30.9	22.6	5.1	1.4	3.7	4.6	3.7	0.5	2.3	1.8	217

インフルエンザ定点
 インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
 宮城県:51定点
 仙台市:42定点
 合計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第15週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では石川県(7.48)、岐阜県(5.66)、秋田県(5.05)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は607例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(1.08)、福岡県(0.83)、山形県(0.63)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(4.53)、石川県(4.48)、富山県(4.00)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は増加した。都道府県別では大分県(14.58)、島根県(13.35)、長野県(10.33)が多い。水痘: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮崎県(2.50)、大分県(2.25)、山口県(2.09)が多い。手足口病: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(4.94)、島根県(2.52)、福岡県(1.90)が多い。伝染性紅斑: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別では富山県(0.72)、岩手県(0.23)、新潟県(0.22)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は第12週以降増加が続いている。都道府県別では長崎県(0.68)、沖縄県(0.24)、福岡県(0.20)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福井県(1.27)、秋田県(0.89)、佐賀県(0.70)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は増加した。都道府県別では富山県(1.60)、埼玉県(1.40)、石川県(1.20)が多い。